（別紙4（2））

事業所名：　グループホームあけぼの

作成日：　平成 28 年 3 月 29 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が滞っていた。計画や連絡に不備があったため、開催することができなかった。	今年度は一度しか開催ができなかったので、来年度は定期開催を目指す。	開催に当たっては、担当者を確保すること、また断られた際のために、複数名の方々にお願いを行い、計画通りに開催できるように目指す。	12ヶ月
2	6	現在の入居者様のレベルが重度化してきていることもあり、安全確保を目的として行動開始時の転倒防止のために離床センサーを使用している。認知があり、下肢筋力が低下し立位が保てない利用者が半数を占めているため、転倒・転落の可能性があることから、離床センサーに頼らざるを得ない状況になっていることが問題。	センサーを使用することなく、入居者に対して転倒、転落しないよう支援することを目標とする。	現在、センサー使用者に関しては、身体拘束委員会で協議を行い、身体的レベルでのセンサー設置の検討を行っている。排泄行為だけのためにベットから降りるわけではないので、入居者それぞれの日課や行動の理解を深め、対応策やケアの方法を職員間で共有し、事故の起きない環境を整備するなど、職員の士気を高めながら、離床センサーを必要としない環境を目指す。	12ヶ月
3	35	定期的な避難訓練が行えてなかった。	定期避難訓練を最低回数以上行ない、有事の際に迅速に行動できるよう、訓練を行う。	避難訓練の定期開催に向けて計画を立て、昼間想定、夜間想定、地震想定の訓練を行い、入居者の安全確保に努めるよう努力する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。